

モルタル落下事故「全く問題ない」

会社、安全感覚麻痺！

9月1日、本部は申6号（東海道新幹線観音松トンネル内モルタル落下に関する申し入れ）に基づく業務委員会を開催しました。

会社は「モルタルが落下しても、車両から1m離れており、列車運行に全く問題ない」と驚くべき回答をしました。たとえ1m離れていても、列車の風圧でモルタルを巻き上げる可能性があります。「のぞみ」運行開始時、バラストを飛ばしホームにいた乗客が負傷する事故が発生しています。そのことを私たちが追及すると、会社は「靴が線路に落ちていてバラストを巻き上げ飛ばした」と回答しました。これは、モルタルも靴と同じくバラストを巻き上げることを認めた回答です。

本部は、業務委員会の席上において、会社の安全軽視の姿勢に強く抗議しました。

これからも、職場から安全確立に向けて、どんどんものを言っていきましょう！

「落下しても車両から1m離れているから大丈夫？」
机上の空論で安全は守れない！